



DSO参加機関からの開催案内

■理化学研究所

2023年度ダイバーシティセミナー 当事者研究から見たDEI (Diversity, Equity, Inclusion)

- 【日時】 2023年9月6日(水) 9:30-11:00
【題名】 当事者研究から見たDEI (Diversity, Equity, Inclusion)
【講師】 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授 / バリアフリー支援室長 熊谷晋一郎氏
【方法】 オンライン (Zoom Webinar)
【その他】 同時通訳あり/参加費無料
【申込】 https://krs2.riken.jp/m/diversityseminar2023_kumagaya
【〆切】 2023年9月4日(月)
【対象】 DSO参加機関以外も対象
【問合せ先】 理化学研究所 ダイバーシティ推進室 (diversity-jimu@riken.jp)

理化学研究所では、職員のダイバーシティ推進に係る意識啓発を目的として、ダイバーシティセミナーを不定期開催しております。この度、東京大学の熊谷晋一郎先生を講師にお迎えし、ご専門である当事者研究の視点から、DEI (Diversity, Equity, Inclusion) についてお話をいただきます。DSO参加機関で働く方はもちろん、ダイバーシティに関心のある方に広くご参加いただくことが可能です。

【講演要旨】

従来、障害や疾患、貧困や被差別など、様々な困り事を抱えた当事者は、専門家によってその困り事のメカニズムや対処法を研究されたり、支援されたりする、受動的な立場に置かれがちでした。しかし歴史を振り返ると、専門家が考える研究テーマや支援方針は必ずしも当事者のニーズと一致しません。多様な市民のウェルビーイングと機会の平等が保障されるインクルーシブな社会の実現に資する知を生み出すことにコミットするならば、アカデミアは、対等な同僚としてこうした当事者を招き入れる必要があります。そして、これまで以上に多様な特性や経験をもつ同僚が活躍できるように、組織の文化と構造を変える必要があります。

このようなアカデミアの変革は、研究の共同創造 (co-production of research) という標語のもとで世界的に重視され始めていますが、日本では2001年頃から広がってきた当事者研究と呼ばれる実践が研究の共同創造のモデルとして注目されています。本講演では、演者が約15年にわたり行ってきた当事者研究と、研究の共同創造、そして、大学組織の変革の取り組みの一端を紹介し、DEIに資する知を生み出すDEIが実現した研究機関に必要な条件を考えます。

理化学研究所
2023年度ダイバーシティセミナー

当事者研究から見たDEI

(Diversity, Equity, Inclusion)

2023年9月6日(水) 9:30-11:00
オンライン開催 (Zoom Webinar)
同時通訳あり/参加無料

右記のQRコードもしくは
[リンク]からお申し込みください
申込締切: 2023年9月4日(月)
※当日の接続上限500名に達し次第締め切りとさせていただきます。

講師
熊谷 晋一郎 先生
(Shin-ichiro Kumagaya)
東京大学
先端科学技術研究センター
准教授
バリアフリー支援室長

共催: 理化学研究所 ダイバーシティ推進室・脳神経科学研究センター Diversity-Liaison-Committee
【お問合せ】 理化学研究所 ダイバーシティ推進室 diversity-jimu@riken.jp





DSO参加機関からの開催報告

■産業技術総合研究所

第38回 ワーク・ライフ・バランス (WLB) ランチ会 家事分担ワークショップ ～ピクニック編～

- 【日時】2023年7月12日(水) 12:10 - 12:50
- 【行事名】第38回 ワーク・ライフ・バランス (WLB) ランチ会
- 【題名】家事分担ワークショップ ～ピクニック編～
- 【場所】産総研つくばセンター 多目的室
- 【主催】産業技術総合研究所 ダイバーシティ推進室
- 【協力】産総研デザインスクール2022 チームSTRAP

産業技術総合研究所では、ワーク・ライフ・バランスの一助となるような情報提供や交流の場として、ランチ会を定期開催しています。今回は「家事分担ワークショップ～ピクニック編～」のご報告です。このワークショップは、参加者がチームごとに家族になり、家事分担に挑戦するというものです。各チームは3～4名程度、まず家族の役割（パパ、ママ、祖父母、兄妹など）や特徴（体力・気力・スキル）をくじ引きで決め、次にピクニックの前日までの準備や当日の作業を細かく分解して付箋に書き出しました。そして、それぞれの作業を担当する家族をチームで話し合いながら決め、最後にチーム内および全体で結果を共有しました。

参加者からは「母親（私）が一人で行うのが一番早いと思っていましたが、家族の適材適所で分担してみたいと思いました」「自分では思いつかない家事のアイデアが他の人から出てきて、とても参考になりました」等の声が聞かれ、家事分担について改めて考える機会になったようでした。なお本ワークショップ企画には、産総研デザインスクール2022のチームSTRAPが協力しています。

*産総研デザインスクールの詳細は右記をご覧ください：<https://product-design.jp/project/>



事務局からのお知らせ

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、そこで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですので、ぜひお寄せください。

～ニュースレターにはこのような記事を掲載しています!～

- 今後開催されるシンポジウムやセミナー、講演会などのお知らせ
- 最近行われたイベントの報告、参加報告
- 最近取組中のこと、その他関連情報

また、ご連絡先の変更がありましたら、事務局へお知らせください。

